

プロップ・コンピュータ・セミナーPHASE 1 いよいよスタート

プロップ・ステーション設立準備委員会は、92年9月2日より(社)大阪ボランティア協会にて、障害者を対象としたプロップ・コンピュータセミナーPHASE 1を開始しました。

このPHASE 1は、プロップ・ステーションが正式発足後に行うプロップ・コンピュータ・セミナーの実験セミナーとして、教育・運営方法等について様々な試みを行っていきます。そして、その結果を踏まえて段階的に受講生数、対象とする障害の種類、マシンの機種などを拡大していく予定です。まだまだ、開始したばかりで、設備も不十分であり、また、教育方法についても手探りな状態です。もし、当セミナーに興味を持たれましたら、是非見学に来ていただき、いろいろな角度からご意見を承りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

なお、このセミナーPHASE 1は、アップルコンピュータ株式会社からのマシンの提供、をはじめ株式会社ダイナウエア・株式会社エクセル・株式会社巴商会など多数の企業からのご援助、及び、今回から新たに参加していただけるボランティア・インストラクターの方々(約20名)により、実現にこぎ着けることができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

<プロップ・コンピュータ・セミナー PHASE 1 について>

1. プロップ・コンピュータ・セミナー構想とPHASE 1の位置づけ

プロップ・ステーションは、職業的自立を目指す障害を持つ人達に、コンピュータを媒体とした就業への道を開拓することを目的として、就業相談、コンピュータ教育等を実施する予定です。このプロップ・ステーションの中核的事業の一つであるプロップ・コンピュータ・セミナーは、法人として正式発足したプロップ・ステーションが行うボランティアに依存しない活動です。

当設立準備委員会は、以下に示すようにプロップ・コンピュータ・セミナーの準備活動としてセミナーPHASE1を92年9月2日より開始しました。次年度にはPHASE2を実施し、最終的にプロップ・コンピ



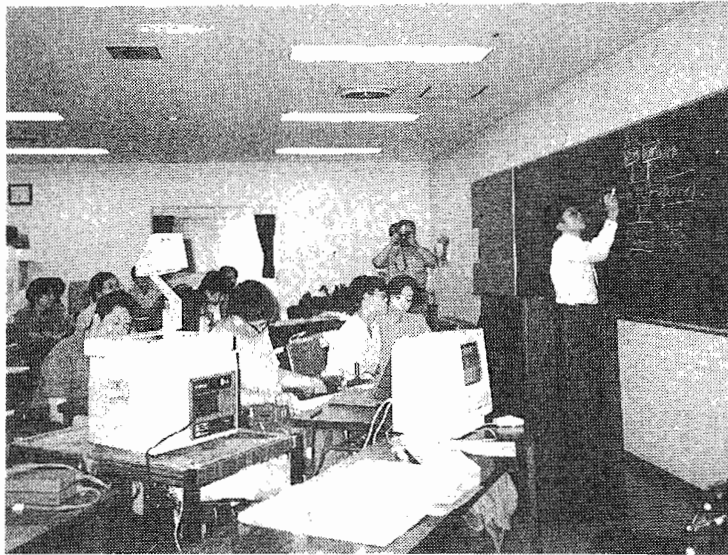
ータ・セミナーを正式スタートする計画です。

・ PHASE1 (92/9-93/3)

プロップ・コンピュータ・セミナーの導入PHASEとして実施します。対象者は6人で肢体障害者、マシンはMacintoshに限定して、週1回のペースでアフターファイブに実施するなど、小規模なセミナーとします(内1人は、在宅セミナー)。この段階では、運営は主にボランティアによります。なお、受講者の人数は、マシンが新たに入手できれば、増やしていきたいと考えています。

・ PHASE2 (93/4-94/3以降)

PHASE1の課題を踏まえて、対象者やマシン機種を増やし、セミナーの規模を拡大します。この段階でも、運営は主にボランティアによります。



・ プロップ・コンピュータ・
セミナーの正式スタート

上記1)、2)の経験を踏まえて、法人として正式発足したプロップ・ステーションが、ボランティアに依存せずに行う本格的な事業です。

2. PHASE1の目的

PHASE1は、プロップ・コンピュータ・セミナーの導入PHASEであり、次の点を目的として実施します。

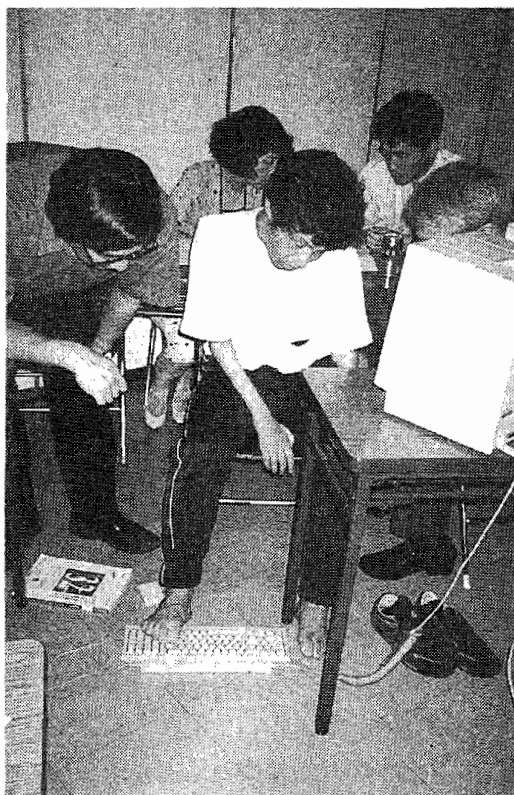
- ・ プロップステーションの中核的スタッフの養成
- ・ プロップステーションで本格的に教育事業を行う前にあらかじめ課題点を抽出(実験的位置づけ)

・プロップステーションが法人として正式発足するための実績づくり

・広 報

3. 対 象 者

受講者の一般公募は次年度のPHASE 2 以降で実施します。PHASE 1 では、昨年度プロップ・ステーション設立準備委員会が実施した障害者の就労アンケートに回答してくれた方からセミナーへの参加意欲が強い人に声をかけ、参加希望者を募りました。



4. 主催及び後援

主催；プロップ・ステーション設立準備委員会

後援；社団法人大阪ボランティア協会

協力；アップルコンピュータ株式会社

株式会社ダイナウエア

株式会社エクセル

株式会社巴商会

5. 実施期間

・92/9月～93/3月末、 毎週水曜日6：00～8：30

ただし、

92/9月～92/11月末；基本操作及びワープロ等のビジネスソフト中心

92/12月～93/3月末；CAD、DTP等の専門ソフト中心

6. 実施場所

当面は、大阪ボランティア協会研修室で実施します。



7. 講習料金

教材費等の実費分を受講生より徴収します。

8. セミナーの内容

1) セミナーの進め方

(1) セミナーの内容の深度

当セミナーでは、それぞれのアプリケーションや開発用ツールに関して、手取り足取り教えることはせず、なるべく幅広く、ソフトの使い方を修得してもらいます。それ以上の教育は、参考書等を利用して自分で実施してもらい、そのために、パソコン通信を利用したQ&Aの実施、参考書の紹介などを行います。

(2) 2段階セミナーの実施

①Macintoshの基本操作、ビジネスソフトに関するセミナー

専門ソフト修得への導入として、受講者はまず、Macintoshの基本操作、基本的なビジネスソフトの操作をマスターしてもらいます。

②専門ソフトに関するセミナー

上記のセミナーを修了した受講生は、直接ビジネスにつながる可能性のある専門的なソフトのセミナーへと進みます。ただし、この専門ソフトのセミナーに関しては、個人の希望と当会のスタッフによる受講生の適性評価から受講生を選抜し、各受講生に適したソフトを選択します。

(3) セミナーの実施形態

セミナーは、メイン・インストラクター1名、アシスタント・インストラクター3～5名程度により実施します。インストラクターは、当会のスタッフ等ボランティアにより構成します。なお、今回、新たにインストラクターを募集した結果、プログラム開発、建築設計、デザイン、DTPなど種々の分野で活躍されている強力な方々が集まりました。



(4) カリキュラムの種類

①基本操作及びビジネスソフトコース (講座回数7回)

情報工学入門及び基本操作、ワープロ、通信、表計算、グラフィック、カード型データベース、ユーティリティ

②専門ソフトコース (11月以降実施)

- a) DTP、イラストコース（講座回数6回）
- b) CAD、3D・CGコース（講座回数4回）
- c) プログラミングコース（講座回数10回）
- d) リレーショナル・データベースコース（講座回数4回）

9. 事業スケジュール

- ・92年7月～8月末；スタッフ養成期間（専門ソフトは11月末まで）
- ・92年7月下旬；ボランティア募集スタート
- ・92年9月2日より；ビジネスソフトセミナー・スタート
- ・92年11月より；専門セミナー・スタート
- ・93年4月上旬；PHASE 1の評価とPHASE 2への移行

10. その他

1) コンピュータに関するQ&Aパソコン通信の実施

当面は西宮市NMCのパソコン・ワープロなんでもトークのボードを利用して、主にセミナー受講者を対象にしたQ&Aを実施します。これは、受講者に対するセミナーのアフターケアです。なお、遅くとも、PHASE 2 移行時には、当会独自のパソコン通信のホスト局を開設する予定です。

2) 専門ソフトに精通したボランティアの募集

当セミナーの実力をさらに上げるために、Macintosh等のDTP、イラスト、CAD、3D・CGコース、プログラミング、リレーショナル・データベースなどの専門的なソフトに精通しているボランティアを継続的に募集しています。

